

第30回国民文化祭かごしま2015

「横瀬古墳とヤマト王権のつながり」

『第30回国民文化祭かごしま2015』は、10月31日（土）から11月15日（日）の期間で、鹿児島県内の全市町村が会場となり開催されました。

歴史豊かな大崎町は、県内2番目の大きさを誇る横瀬古墳をはじめ、数多くの重要文化財もあることから『歴史』にスポットをあて、『横瀬古墳とヤマト王権のつながり』のテーマのもと、10月31日（土）から11月1日（日）にかけて町総合体育館と横瀬古墳で開催しました。

体育館では、土器づくりや火おこし体験などの親子で楽しめる体験コーナーが設けられ、多くの親子が楽しみました。

横瀬古墳では、地元大丸小学校の6年生児童によるボランティアガイドが、手作りの資料を用いて古墳ガイドを行いました。来場者らは、初めて聞く横瀬古墳の話に熱心に聞いていました。また、古代史を歌うユニット『石舞台』によるコンサートでは、横瀬古墳のテーマソング『横瀬古墳のロックンロール』も発表され、大いに盛り上がりました。

2日目には、俳優・日本考古学協会会員の刈谷俊介さんによる基調講演や横瀬古墳の発掘調査の研究報告、有識者を交えたパネルディスカッションなども開催され、歴史好きにはたまらない内容でした。大崎会場には、県内外から約1350人が来場され盛大に幕を閉じました。



国民文化祭『おもてなし作文』で表彰を受ける野方小学校の山下明海里さん



刈谷俊介さんによる基調講演

有識者によるパネルディスカッション



池畑 耕一

鹿児島県考古学会 副会長

刈谷 俊介

日本考古学協会会員・俳優

内村 憲和

大崎町教育委員会

大西 智和

鹿児島国際大学教授

柳澤 一男

宮崎大学名誉教授